

令和3年度第2回区政会議全体会議で出されたご意見と区役所の対応

意見	当日の回答	担当課
視覚障がい者の方にとって重要な点字ブロックの件ですが、設置の仕方が統一されていないうえ、分岐点などで注意を促す警告ブロックが必要と思われるところもなく、かえって危険にさらすような誤ったケースが発見されています。大阪メトロ弁天町駅からみなと中央病院の横、仮設の階段を下りライフの前を通過する際、ブロックの切れ目からそのあとの進行方向がわかりにくく、不便を強いられている方がおられます。中央大通り沿いを歩く際、点字ブロックの上の歩行者や配慮も無く置かれている看板、自転車といった障がい物などとぶつかることがあるほか、ブロックが中途半端な位置で途切れてしまったり、バス停を示す誘導は、バス停が必要ではない方のその先への誘導がされていないブロックなど、それ自体に問題がある場合も見受けられます。せめて公共交通機関から大通り沿いの歩道だけでも杖で安全に歩けるよう、今一度、設置箇所の確認をお願いしたい。	ご指摘いただいた方に具体的な場所と、どのようにしたらいいのかを具体的に教えていただき、区役所の方から道路の管理担当の所に伝え、対応させていただきます。	総務課
	その後の対応	
	視覚障がいをお持ちのご本人・地域役員の方・区役所・歩道を管轄します建設局・社会福祉協議会で実際に現地を歩き、ご本人と一緒に危険な箇所等を確認しました。その際に、ご本人から点字ブロックに加え、横断歩道に設置されています音声案内についてのご意見もいただき、再度警察・区役所・建設局で確認した。	
	今後の対応 次のとおり対応することとし、今後も進捗を報告する ①早期に対応できるもの ・点字ブロック上等の自転車や看板について指導や見回りを強化する。 ②今後対応に向け調整する内容 ・ライフ前西側交差点点字ブロック、ガスト西側から横断歩道を渡った場所に点字ブロックを適正設置⇒R4年度予算措置後 ③現時点で対応が困難な内容 ・ガスト前のバス停からガスト西側交差点までに点字ブロックの設置。 ・音声案内の新設等。	